

第二次魚沼市地域公共交通計画

概要版



計画本体はこちら
(魚沼市HP)



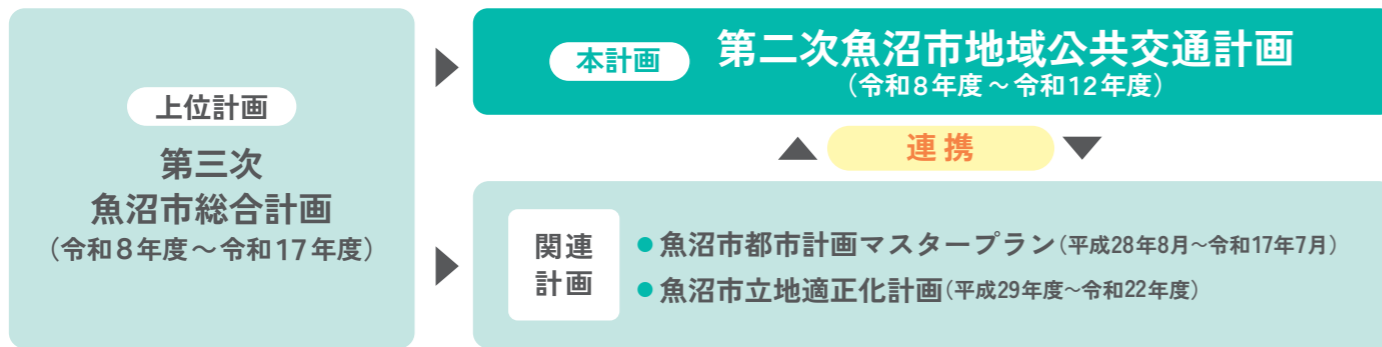
1. 計画策定の趣旨・目的

本市では自家用車依存が高く、少子高齢化や通学需要の減少により公共交通利用が減り、運行の持続が難しい状況が続いてきました。こうした中、市民が安心して暮らせる環境を整えるため、令和3年3月に「魚沼市地域公共交通計画(令和3年度～7年度)」を策定し、AIオンデマンド交通「のーと魚沼」の導入や地域ごとの乗合タクシー、魚沼基幹病院を經由する路線バス運行など、地域の実情に応じた交通サービスの充実に取り組んできました。

しかし現在もドライバー不足や運行コスト増などにより、公共交通の維持は一層困難になっています。本計画では、深刻化する課題の解決に向けて、これまでの取組を継承・発展させながら交通サービスの再編を進め、持続可能な運行体制の構築を目指します。それにより、全ての市民が安心して移動できる環境を整え、生活の質を向上させるとともに、公共交通の利便性を高め、利用促進を図ることで地域活性化にも寄与します。

また、行政・交通事業者・地域住民が課題を共有し連携して取り組む体制が不可欠であり、本計画では施策の実施主体を明確にし、関係者と連携しながら持続可能かつ魅力ある交通体系の実現を図ります。

2. 上位・関連計画の整理



3. 現状整理

現状(総括)		
○市北部・堀之内では、乗合タクシーと路線バスのルートが重複し、運行が非効率。 ○乗合タクシー全般とのーと魚沼は、一人あたりの市負担額が高い。	課題1	
○小千谷総合病院～川口～小出営業所前線は、魚沼市外での利用が多く魚沼市内の利用は少ないことから、系統のあり方を検討する必要がある。 ○六日町駅前～魚沼基幹病院～小出駅～市役所前線は、市境を越える利用者が少ないと考えられる。		課題2
○路線バスと乗合タクシーの重複や、市北部の乗合タクシーに重複があり、ドライバー数を削減する余地がある。 ○バスドライバーは令和3年度以降減少しており、今後も確保が困難になる見込み。 ○タクシードライバーも高齢化により将来的な人員減少が懸念される。		課題3
○高齢者の交通事故率が微増しており、安全確保のため公共交通の利用促進が必要。 ○免許返納者数が一定数となっている中、公共交通への転換を進めるには利便性向上が求められる。 ○乗合タクシーの認知度が低下しており、利用方法も含めた周知強化が必要。 ○住民(65歳以上)と高校生は公共交通の満足度が低く、将来の移動にも不安を抱えている。 ○アンケート調査より、高校生はキャッシュレス決済導入や増便、住民(65歳以上)は免許返納者向けサービスの充実に希望しており、全世代で「分かりやすい情報提供」が求められている。 ○地域住民へのヒアリングより、小出病院・市役所でバス停で雨がしのげないとの声や、魚沼基幹病院へのアクセス改善を求める声がある。	課題4	

4. 課題の整理

課題1	公共交通の市負担額の軽減と効率化	行政負担の軽減と、乗合タクシー・のーと魚沼の効率的な運行が必要
課題2	地域間交通の維持・見直し	地域間幹線系統の効率化と維持の両立が必要
課題3	ドライバーの確保と持続可能な運行体制の構築	将来に向けた人材確保と運行体制維持が必要
課題4	利用者の利便性向上と利用促進	利用者数の維持・増加と、施設へのアクセス改善が必要

5. 基本的な方針と目標

基本方針

支え合い、乗り合い、未来へつなぐ、持続可能な公共交通

目標① 持続可能な地域公共交通運営体制の構築

- 市北部の乗合タクシー等の重複を整理し、トータルでの運行頻度を維持します。
- 温泉施設など地域資源との連携・活用方法を検討します。
- 市域を跨ぐ幹線系統は、沿線自治体や交通事業者と協議し、利用実態に合った再編を検討します。
- 市負担が増加している乗合タクシー運賃を、適正価格へ見直します。

目標② 利便性の向上と利用促進による公共交通の維持

- 魚沼基幹病院へのアクセスが市内どの地域からもしやすくなるように検討を行います。
- 公共交通の利用方法を分かりやすく伝えるため、公共交通マップの作成や、乗り方説明会等を実施します。
- 現在免許返納を迷っている方や、公共交通を利用していない方にも利用してもらえるような利用促進を行います。
- 尾瀬エリアへの観光客の利便性を高めるため、路線バスのキャッシュレス決済の導入を検討します。

目標③ 地域公共交通を支える人材の確保と育成

- こどもにバスに興味をもってもらい利用してもらおうことで、将来運転手になってもらえるように、こどもへのバス利用意識の醸成を行います。
- 交通事業者へのドライバー確保に対する補助制度を導入するとともに、大型バスの運転に興味をもってもらえるような体験会を企画します。

6. 目標達成のための施策

目標①

持続可能な地域公共交通運営体制の構築

- 施策1-1 路線バス及び乗合タクシー重複区間の再編
- 施策1-2 のるーと魚沼の運行効率化
- 施策1-3 市内公共交通と温泉施設等との連携
- 施策1-4 地域間幹線システムの再編・維持の検討
- 施策1-5 乗合タクシーの運賃改善

PICK UP

施策1-1 路線バス及び乗合タクシー重複区間の再編

- 守門・広神地域の乗合タクシーの重複区間を一体化し、1台で運行できるように再編して効率化します。
- 鉄道・路線バス・乗合タクシーの役割を整理し、時間帯の重複を避けて全体の運行間隔を整え、より効率的で利便性の高い運行を目指します。
- 特に利用者が減っている路線バスは、代替手段も含めて再編による効率化を検討します。

施策1-2 のるーと魚沼の運行効率化

のるーと魚沼HP



- 1台に乗り合う人数を増やし、一人あたりの市負担額を抑制します。
- また、タクシー事業者のドライバー減少が見込まれるため、効率的な乗り合わせにより持続可能な運行体制を確保します。
- のるーと魚沼の乗り方説明会(施策2-5)や、乗合タクシー無料月間(施策2-6)等の取組を通じて利用者を増やし、1台に乗り合う人数の増加を図ります。

目標②

利便性の向上と利用促進による公共交通の維持

- 施策2-1 郊外部からの魚沼基幹病院アクセス改善の検討
- 施策2-2 公共交通利用時の待合環境整備
- 施策2-3 中高生へのバス利用促進
- 施策2-4 誰もが分かりやすい公共交通マップの作成
- 施策2-5 乗合タクシーの乗り方説明会の開催
- 施策2-6 公共交通利用機会の創出
- 施策2-7 運転免許返納者への公共交通利用券の交付
- 施策2-8 高齢者福祉タクシー利用券・障がい者福祉タクシー利用券の交付
- 施策2-9 尾瀬エリアへのアクセス路線の利用促進
- 施策2-10 キャッシュレス決済等の導入

PICK UP

施策2-1 郊外部からの魚沼基幹病院アクセス改善の検討

- 小出地域以外から魚沼基幹病院に直接アクセスする手段がないため、乗り換えしやすいダイヤとなるよう改善を検討します。
- また、市内の既存路線バス・乗合タクシーと小出～六日町線(基幹病院経由)の乗り継ぎ方法を周知し、利用促進を図ります。

施策2-2 公共交通利用時の待合環境整備

- 市役所・小出駅・小出病院などで、乗換しやすい案内を整備することを検討します。
- また、市役所や小出病院で停留所と入口が離れているため、車両の小型化なども含め、施設への乗り入れの可能性を検討します。
- 乗合タクシーは利用状況によって待ち時間が増えることがあるため、利用の多い医療機関やスーパーなどで、待合環境が整っていない場所については、ベンチの設置等を検討します。

目標③

地域公共交通を支える人材の確保

- 施策3-1 こどもへのバス利用意識の醸成
- 施策3-2 交通事業者のドライバー確保に向けた補助制度の導入
- 施策3-3 大型バスの運転体験機会を通じたドライバー希望者の創出

施策3-1 こどもへのバス利用意識の醸成

PICK UP

- バス乗車体験を通じて、こどもに路線バスへの親しみを持ってもらい、将来の運転士確保にもつながる取組を実施します。【継続】
- 体験後に実際の路線バスに乗ってもらえるよう、乗車券の配布や抽選企画の実施を検討します。



図 バス無料乗車体験チラシ

施策3-3 大型バスの運転体験機会を通じたドライバー希望者の創出

- 普段運転する機会がない大型バスの運転体験を実施し、バスドライバーを目指す人を増やすため、市職員駐車場などで体験会を行うことを検討します。



図 越後交通(株)主催バス運転体験会(後援:長岡市) [出典]長岡市

7. 計画の達成状況の評価・見直しの方法

目標①持続可能な地域公共交通運営体制の構築

評価指標	基準値(R6年度)	目標値(R12年度)
市内公共交通に係る市負担額 [千円/年] ^{※1}	139,378	167,200
利用者一人あたり市負担額 [円/人] (路線バス) ^{※2}	782	782
利用者一人あたり市負担額 [円/人] (乗合タクシー) ^{※3}	3,846	3,500
利用者一人あたり市負担額 [円/人] (のるーと魚沼) ^{※4}	3,962	2,500
収支率 [%] (路線バス) ^{※5}	26%	26%
収支率 [%] (乗合タクシー) ^{※5}	6%	10%
収支率 [%] (のるーと魚沼) ^{※5}	5%	10%

目標②利便性の向上と利用促進による公共交通の維持

評価指標	基準値(R6年度)	目標値(R12年度)
市民一人あたり利用回数 [回/人] (路線バス) ^{※6}	1.9	1.9
市民一人あたりの乗合タクシー利用回数 [回/人] (乗合タクシー) ^{※6}	1.0	1.1
将来の移動に対する安心度 [%] ^{※7}	18	30
乗合タクシー及びのるーと魚沼の認知度 [%] ^{※8}	53	70

目標③地域公共交通を支える人材の確保

評価指標	基準値(R6年度)	目標値(R12年度)
こどもへのバス利用意識醸成イベントの参加者数 [人] ^{※9}	103	120
ドライバー確保に係る補助金利用累計件数 [件] ^{※10}	0	10

- ※1 路線バス・乗合タクシー・入広瀬コミバスの運行費補助金額の年合計
- ※2 路線バスの市の運行費補助金年合計÷市内路線バスの利用人数の年合計
- ※3 乗合タクシーの市の運行費補助金年合計÷乗合タクシーの利用者数年合計
- ※4 (運行費補助金・コールセンター費・システム費の年合計-運行収入)÷のるーと魚沼の利用者数年合計【基準値は令和7年4～9月の値から算出】
- ※5 各交通手段の運賃収入÷各交通手段の運行経費の合計【運賃収入には、福祉券等の利用金額を含む】
- ※6 市内路線バス又は乗合タクシーの利用人数の年合計÷魚沼市の人口【基準値は令和7年3月31日の人口で算出】
- ※7 住民(65歳以上)アンケートにおいて「安心できる」「やや安心できる」と回答した人の合計
- ※8 住民(65歳以上)アンケートにおいて各乗合タクシー等が運行する地域内の回答者が「知っている」と回答した割合の平均値
- ※9 「JA魚沼北魚沼地区大農業祭×食まっちゃうおぬま」で同時開催した乗車体験等に参加した人数
- ※10 魚沼市地域公共交通人材確保支援事業補助金の利用件数累計【令和7年10月時点】